

次世代監視制御システム (Web / 汎用データベース / GIS活用)

門馬 啓*
古谷一雄*
田中 寛*

Next Generation Supervisory Control System(Web / Database / GIS Application)

Kei Momma, Kazuo Furuya, Satoru Tanaka

要 旨

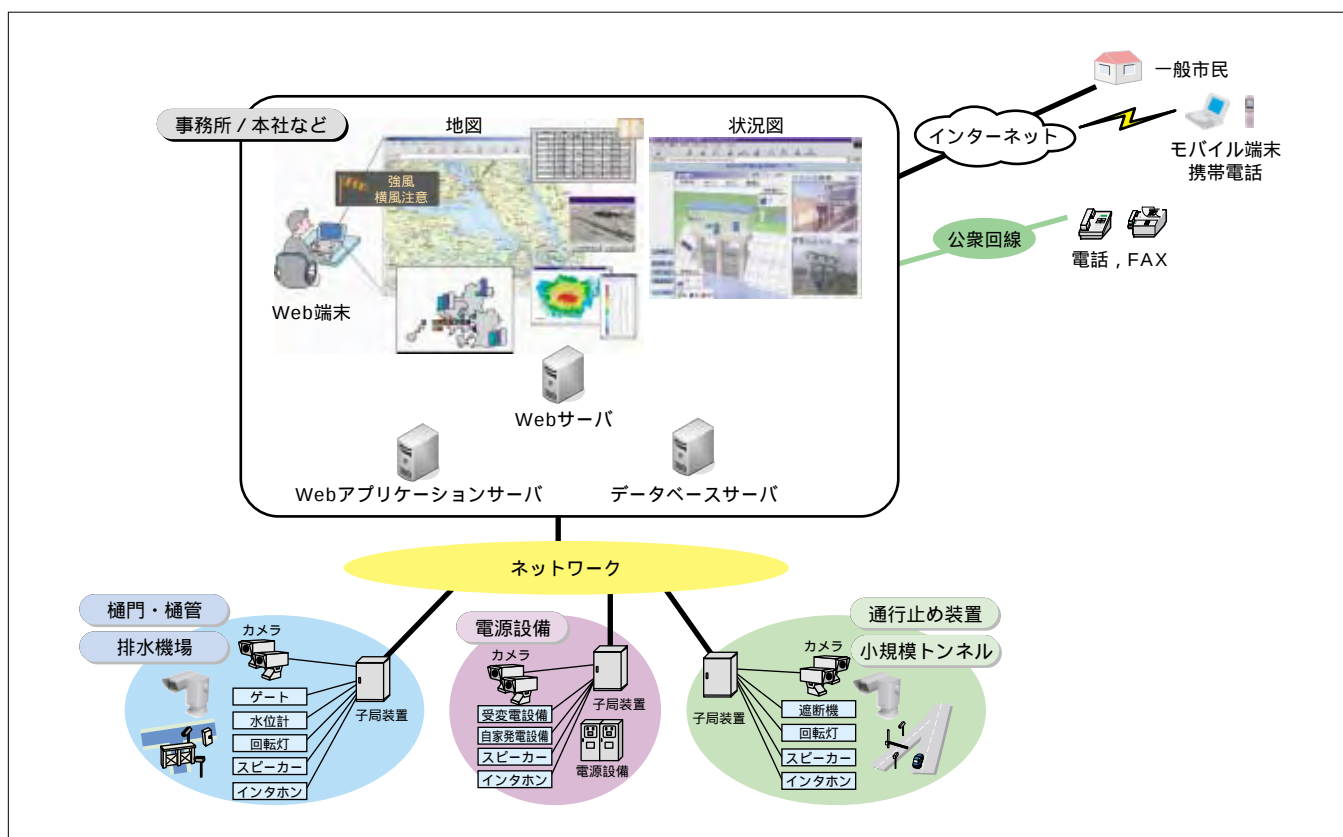
広域監視制御分野では、従来型の監視制御システムと、収集した観測データなどの情報を集約・二次加工し一般利用者に情報公開・配信する情報システムが一体となった複合的なシステムが増えている。

三菱電機では、このような複合的なシステムに対応が可能な次世代監視制御システムを製品化し、河川情報システムや、防災情報システムを中心に適用している。次世代監視制御システムは、観測情報や、機器状態などの監視対象の情報をRDB(Relational DataBase : リレーショナルデータベース)に、長期間・大量に蓄積して、需要予測や運用支援などの高度な業務システムでの利用を可能とする。Ajax(Asynchronous JavaScript + XML : JavaScriptによ

る非同期通信)技術を用いることによって、専用の監視端末だけでなく、一般端末でもWebブラウザによるリアルタイムな監視制御を可能にするとともに、インターネットで一般利用者に情報公開・配信する機能を提供する。さらに、位置情報と監視情報を融合して高度な表現が可能なGIS(Geographic Information System : 地理情報システム)機能も提供する。

本稿では、当社が提供している次世代監視制御システムの特長、機能、システム構成、実現方式について述べる。また、河川情報システムや、防災情報システムへの適用例についても述べる。

特集
II



次世代監視制御システム

次世代監視制御システムは、監視制御システムと情報システムを融合したシステムを提供する。Ajax技術によるインターネットでのリアルタイムな監視制御と情報配信、RDBでの長期間・大容量の監視情報の管理と活用、位置情報と監視情報を融合したGIS機能を特長とし、河川情報システム、防災情報システムを中心に適用している。